

はじめに

平成27年11月より労働安全衛生法が改正され、リフラクトリーセラミックファイバー（以下「RCF」）が特定化学物質（第2類物質）に指定されています。ミヤマでは、本改正によって義務化されたRCFの製造・取り扱い等を行う屋内作業場での作業環境測定のほか、解体、廃棄物処理等の際のRCF含有の有無についての事前調査などRCFに関連した各種分析、測定を行っています。

作業環境測定

RCFを製造・取り扱う屋内作業場では、作業環境測定等を行うことが必要です。

作業環境測定における管理濃度及び測定方法

| 物質名 | 管理濃度 | 試料採取法 | 分析方法 |
|-------------------|---------------------------------------|-------|---------------|
| リフラクトリーセラミックファイバー | 5 μ m以上の繊維として0.3本/cm ³ | ろ過捕集法 | 位相差顕微鏡を用いた計数法 |

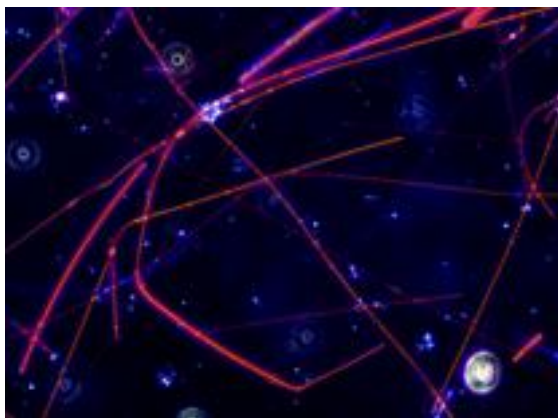
RCF含有判定分析

※現在RCF分析は、公定法（国で決められた方法）はありません。下記の方法で判定いたします。

分析方法：位相差・分散顕微鏡及び電子顕微鏡による定性分析方法

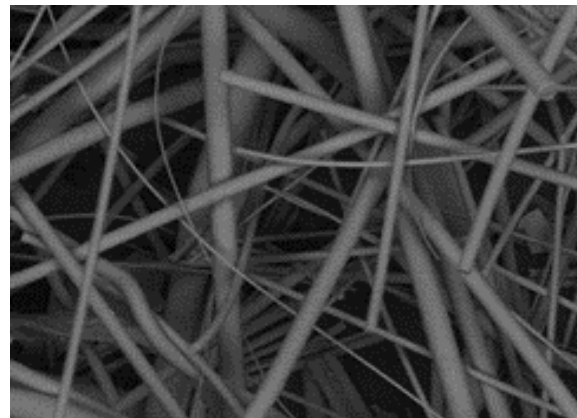
分析結果：「検出」又は「検出せず」

必要試料量：ゴルフボール1個程度の量



位相差顕微鏡でのRCF画像

※屈折率が1.53～1.54である事を確認



電子顕微鏡でのRCF画像

※アルミニウムとケイ素の含有比率を確認

※同時にアスベストの分析対応も可能です。

分析方法：JIS A 1481建材製品中のアスベスト含有率測定方法等

分析費用：RCF、アスベストを同時に分析することでコストメリットが出ます。

RCFが使用されている製品等

炉のライニング材、防火壁保護材、高温用ガスケット・シール材、タービン、絶縁保護材、伸縮継手への耐熱性充填材、炉の絶縁材、耐熱材、炉・溶接・溶接場のカーテン、分析機器の断熱材

製品中にRCFが含まれているのか？、含まれていないのか？？

判断でお困りでしたら、ミヤマの含有判定分析をご利用下さい。